

林間の未舗装路走る自動車レース

アークラリーに熱視線

【蘭越】林間の未舗装道路をオフロード用の自動車で走る「アークラリー」が今年から町内で本格開催されるようになり、観光関係者らが注目している。9月2日には約50台が参加する大会を予定。町側は「マチをPRするきっかけにしたい」と期待している。

(堀田昭一)



今年6月に開催されたアークラリーカムイ。千人以上が来町し大きな経済効果をもたらした

蘭越で2日大会 地域PRや経済効果 期待

アークラリーは合計で数十キロに及ぶコースの走行時間を競う競技。平均時速70キロ、最高120キロの猛スピードで砂利道を駆け抜ける迫力が魅力という。

札幌の競技団体から町に昨年「蘭越でコースを設定したい」と打診があり、町は林道や町道を提供。今年6月には全国大会「アークラリーカムイ」が開催され、選手や整備士、スタッフとして千人以上が来町した。町側は「宿泊や弁当などで少なくとも数百万円の経済効果があった」と話す。

9月2日に町内約40キロのコースで開かれる「アークスプリント」でも選手ら約300人が町内のペンションなどに宿泊する。見学も可能なため道内外からファンが訪れる見込み。

「カムイ」「スプリント」を主催するアーク・オートクラブ・オブ・スポーツ(札幌)の竹内雄康代表は「蘭越は平らで幅の広い道が多く走りやすい」と話し、来年以降も蘭越町で開催したい考えを示す。

町商工労働観光課は「会場であらんこし米など特産品をPRして町の知名度向上につなげたい」と話している。